（別紙２）

東北電力　地域づくり支援制度「まちづくり元気塾®」アドバイザリーボードメンバー（７名）

○岡﨑（おかざき）　昌之（まさゆき）　氏（法政大学　名誉教授）【座長】

（財）日本地域開発センター企画調査部長、福井県立大学教授等を経て、２００１年から法政大学教授。２０１５年より名誉教授。北海道池田町、岩手県遠野市、山形県小国町、愛媛県内子町、大分県湯布院町、沖縄県読谷村などのまちづくりや計画策定に参画。

【主な公職】
地域づくり団体全国協議会会長、全国過疎連盟過疎対策研究会委員長、福島県地域創生戦略有識者会議座長など。

○志賀（しが）　秀一（しゅういち）　氏（株式会社東北地域環境研究室　代表）

北海道東北開発公庫（現・日本政策投資銀行）、観光施設「山寺風雅の国」常務取締役を経て、２００１年から地域づくり・観光まちづくりに関するシンクタンク（株）東北地域環境研究室代表。各地の観光振興計画や道の駅をはじめとする交流拠点施設の計画策定などに係わる。

【主な公職】
内閣府地域活性化伝道師、東北風景街道協議会委員（国土交通省東北地方整備局）、尚絅学院大学客員教授、ＮＰＯシニアマイスターネットワーク東北地区担当ディレクターなど。

○橋立（はしだて）　達夫（たつお）　氏（作新学院大学　名誉教授）

２０００年４月から作新学院大学教授、特任教授を経て２０１７年より現職。大学在学中から５０年にわたり、民間研究機関勤務・研究所経営などを通して北海道から沖縄まで全国のまちづくり現場に参画。

【主な公職】
総務省地域力創造アドバイザー、内閣府地域活性化伝道師、とちぎ協働デザインリーグ理事など。

○柳井（やない）　雅也（まさや）　氏（東北学院大学教養学部　教授）

桐蔭学園高校教諭、ＵＣＬＡ大学留学、岡山大学文学部助教授、富山大学経済学部教授を経て２００５年より現職。２０１１年より学長室副室長、２０１９年より地域構想学科長。２０１３～１４年ケルン大学客員教授。専門分野は経済地理学（産業地域論、地域づくり、日系企業の国際化）。

【主な公職】

地域づくり団体全国協議会幹事、復興庁ハンズオン支援対象事業選定委員会委員長、国土形成計画北陸圏広域地方計画懇談会委員など。

○菊池（きくち）　新一（しんいち）　氏（認定ＮＰＯ法人遠野山・里・暮らしネットワーク　会長）

遠野市役所在職中に「道の駅 遠野風の丘」の立ち上げと運営、ショッピングセンター「とぴあ」の再生で中心的役割を担う。早期退職後、２００３年に遠野山・里・暮らしネットワークを設立。遠野型グリーンツーリズムなどの実践に携わる。

【主な公職】

内閣府地域活性化伝道師、農林水産省ボランタリー・プランナーなど。

○寺川（てらかわ）　重俊（しげとし）　氏（有限会社寺川ムラまち研究所　代表取締役）

まちづくりコンサルタントとして、全国の中山間地域や地方都市の都市計画、産業振興、中心市街地・集落活性化の実践を支援。特に住民参加、官民協働による地域の独自性を活かしたまちづくりを推進。現場に近い所で仕事をすることを目指し、大分県湯布院に１０年間居住。現在は岩手県遠野市在住。

【主な公職】

国土交通省地方振興アドバイザー、自治省地域振興アドバイザー、熊本県地域活性化支援事業アドバイザーなど。

○役重（やくしげ）　眞喜子（まきこ）氏（花巻市コミュニティアドバイザー）

２０１９年より岩手県立大学総合政策学部講師。

農家研修で出会った岩手県東和町の人と牛に魅せられ、１９９３年農水省を退職、定住。東和町、合併後の花巻市で教育次長、地域づくり課長、総務課長等を務め、２０１２年に早期退職。岩手大学大学院で行政と地域コミュニティ関係を研究し、博士号取得。各地のコミュニティ組織の活動支援のほか、地元で“東和農旅”プロジェクトを立ち上げ、地域文化や歴史資源を活かした交流事業、若手育成などに取り組んでいる。

【主な公職】

花巻市教育委員、いわて復興未来塾運営アドバイザー、滝沢市自治基本条例検証委員会委員、岩手県行政不服審査会委員など。

以　上